

名伯楽・波郷

◆波郷作品で、特に好きなものは？

波郷の「朝顔の紺のかなたの月日かな」は、蕪村の「遅き日のつもりて遠きむかしかな」と相拮抗する名句です。あまり波郷っぽくなく、人生や療養とは違う句ですね。俳句そのものの美しさで永遠に残る句だと思います。短冊に書いても、すっとしてとても美しい。波郷は、「古典と競う」ということを言っていて、この句なんかはまさに蕪村の古典と競うような作品ですね。他にも素晴らしい句はたくさんあるのですが、「一番の作品は」、と聞かれたらこれを挙げます。

◆第1回から新人賞の選考委員をつとめていらっしゃいます。他の新人賞選考委員なども担っておられますが、振り返ってみて石田波郷新人賞の特徴は感じますか？

私が選考委員を務める賞で年齢制限のあるものは、「田中裕明賞」が45歳未満で句集が対象、「星野立子新人賞」は20歳以上50歳未満の50句です。これらに比べ、波郷新人賞は対象が特に若く、また作品数も20句で応募しやすいようです。ゆえに若い作品がある一方で、現代の若者の生活感が生々しく伝わって来る作品が少なくないと感じます。

◆“新人賞”、“特に対象者が若い”という面で、選考で考慮している部分はありますか？

“キャパシティ”“ポテンシャル”を重視します。それと・・・これは言っていないことなのかという思いもありますが、「天性のもの」ってあるんです。言葉に対する何か。俳句に向いているっていう人、将来すごい句を作るんじゃないかってい

うことを感じさせる句を選ぶようにしています。“俳句に向いているメンタリティ”を持っている人っていうのかな。

◆講演会のテーマ、「波郷門の人々」について教えてください。

先ほどにもお話が出ましたが、波郷は芭蕉などの古典と競うことを提唱して、「や」「かな」「けり」といった切れ字を活用した格調高い文体の句を詠んだんです。俳句が“江戸時代の俳諧の発句”に由来することを、昭和の時代に再確認したことが、俳句史における波郷の重要な意義であるということをお願いしたいと思います。波郷はまた名伯楽で、多くの弟子を育てたんです。今回の講演では、波郷の特徴である“切れ字を駆使した文体”を受け継いだ弟子として、岸田稚魚と細川加賀のふたりを取り上げて、波郷の句と並べて鑑賞し、「波郷門」の作風の見事さをご紹介したいと思います。

“正直な俳句”でいい

◆第10回という節目をもって選考委員を勇退されます。振り返っての率直な感想をお願いします。

人生100年時代でも10年というのは重みがありましたね。「勇退」はおこがましいですが、選考委員にも“賞味期限”があるんです。私自身57歳となり、応募者とは親子ほどの年齢差になりました。賞の選考という仕事は俳句の将来にとって非常に重要で、私より若い俳人が選考委員として場数を踏み、経験を積む必要があるんです。選考委員も若返りが必要で、現在の選考委員のうち最年長の私がまずは引くべき“潮時”と考えました。

◆今後の石田波郷俳句大会・新人賞

に期待したいことをお願いします。

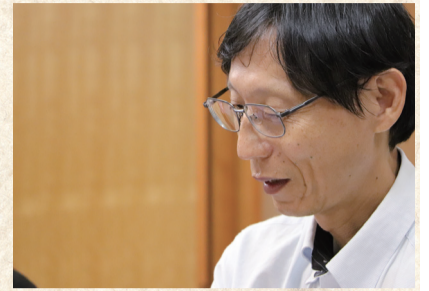
波郷俳句大会と新人賞には、今後も“全国区”の存在であってほしいと思います。俳句という文芸にとって風土は重要で、波郷は愛媛・松山という故郷を背負い、砂町や清瀬など関東への転入者でした。いわゆる“江戸っ子”ではないんです。そのような風土的体質も波郷の文芸の一部となっていると思います。全国津々浦々に町おこしの意味でいろいろな俳句大会があって、高校生を対象にした「松山の俳句甲子園」は最たるものですが、私は審判をさせていただいています。全国から作品が寄せられ、それらがずらりと並びますとそこからはやはり風土というか、何か地域性が見えるんです。芭蕉や奥の細道ゆかりの大会も各地で盛んで、また松山と子規、小諸と虚子と、本当に全国に俳句文化があります。それら各地で開催されている大会間で良い形の“棲み分け”ができ、それぞれが相補いながら日本全体で文芸が平和に栄える姿を思い描きます。

清瀬市も結核医療で世界的に名高くて、波郷大会は「波郷」[療養も含めた境涯性]をベースにした大会として、新人賞については、若い層の生活の実感を受け止めるような俳句の場であることをますます期待します。かつての経済成長の時代と違い、若い世代が“将来への希望や期待”を実感しにくい時代となっていると言われています。そんななか、俳句が何かの役に立つなどとは思いませんが、応募することが時代の閉塞感を表現するささやかな受け皿になるという面はあると思っています。

◆閉塞感を表現という暗い俳句に・・・

それです!“根暗俳句”大歓迎(笑)。今は昔とは違う苦しさがある

時代だと思っんです。それをどんどん俳句にぶつけてほしい。波郷のように格調高く詠むことも良いと思いますが、自虐的な俳句でもいいんです。そこに込められたものは選者も



終始柔らかな口調で波郷や俳句への思いを語った岸本氏

ちゃんと汲み取ります。“正直な俳句”でいいんです。気取った表現は必要ない。いじけた俳句、泣き言のような俳句、愚痴っぽい俳句、大歓迎だとぜひ書いてください。あ、私は選考委員ではありませんけど(笑)。

◆岸本先生自身は、今後の俳句人生をどうしたいと考えていますか？

ひとつは、高浜虚子が好きなので虚子についての勉強は続けて深めていきたいと思っています。もうひとつは、“読”ということについて深めていきたいと思っています。俳句はどちらかという“作”というテーマが多いですが、短い文芸ですから読者に依存するところが大きいんですね。それが前近代的だといって桑原武夫は『第二芸術論』で俳句や短歌を否定したわけですけど、俳句は“読者が作品をどうとらえるか”がとても大事なことなのに、きっちりとした議論がされていない。そのためにも“読”ということについて勉強し、整理し、考えを深めたいですね。

(※インタビュー全文は、市ホームページで公開予定です)

第47回清瀬市民文化祭

47回を数える「清瀬市民文化祭」を、今年も開催します。ぜひ会場へお越しください。日 展示・大会部門＝11月3日(土)午前10時～午後5時・11月4日(日)午前10時～午後4時、舞台部門＝11月3日(土)午前11時～午後5時・11月4日(日)

(日)午前11時～午後4時 場 生涯学習センター、清瀬けやきホール 清瀬市文化協会・竹内 ☎042・492・0146 ※直接会場へ。詳しくは市内公共施設で配布しているパンフレットをご覧ください。

展示部門		
日	会場	展示団体名等
11月3日(土)・4日(日)	生涯学習センター	清瀬市華道連盟
		清瀬茶道連盟
		清瀬絵手紙連盟
		木彫 黒バラ会所属紫陽会
		かな書道 海の会
		しゅんこう和紙ちぎり絵
		きよせ川柳会
		清瀬郷土研究会
		清瀬フォトクラブ
		清瀬けやきホール
大会部門		
日	会場	団体名等
11月3日(土)・4日(日)	清瀬ホール	清瀬市囲碁連盟 清瀬市将棋愛好会
11月4日(日)	清瀬けやき	小中学生囲碁大会 小中学生将棋大会

舞台部門		
日	会場	出演団体名等
11月3日(土)・4日(日)	清瀬けやきホール	清瀬市吟剣詩舞道連盟
		カントリーダンスTKステップ式典
		清明ソーラン「みどりの風」
		清瀬市民謡連盟
		キヨセマジッククラブ
		清瀬おけさ会
		田中バレエスクール(一般参加)
		大正琴錦秋会
		清瀬市フラダンス連盟(ヒヴァヒヴァ)
		清瀬市吟剣詩舞道連盟
ウクレレサークル ポエポエ		
11月4日(日)	東京松浪會	
清瀬市フラダンス連盟(メリアアラ)		
落語(一般参加)		



駅前放置自転車クリーンキャンペーン 10月22日(月)～31日(水)

◆自転車は駐輪場や決められた場所に置きましょう 期間中は、駅周辺での指導やチラシを配布し、放置自転車防止を呼びかけます。自転車は、決められた場所に置きましょう。駅周辺には、一時利用(1回100円)ができる駐輪場がありますので、そちらをご利用ください。なお、移送された自転車は清瀬市中里自転車等保管場所でお預かりしていますので、引き取りをお願いします。なお、移送料をいただく場合があります。

◆あなたの自転車はみんなの迷惑になっていませんか？ 社会全体で自転車の安全で適正な利用を促進しましょう

- ①放置自転車は歩道をふさがり、歩行者の通行の妨げになります。
- ②点字ブロックは、目の不自由な方の歩行案内です。ふさがりません。
- ③安全でスムーズな車の通行を妨げ、渋滞を招きます。
- ④駅前を雑然とさせ、街の美しさを損ないます。
- ⑤事業者は従業員や顧客の駐輪場所を確保し、駐輪場の利用を勧めてください。
- ⑥災害時の避難、消防やパトカーなどの緊急車両の通行の妨げとなります。

◆自動車の迷惑駐車もやめましょう

違法駐車は交通渋滞を招き、緊急自動車や路線バスの通行妨害、さらに交通事故の原因となります。 道路課交通安全係 ☎042・497・2096

第11回清瀬ひまわりフェスティバル

写真・写生コンテストの受賞作品展示会

「第11回ひまわりフェスティバル写真・写生コンテスト」の表彰式が10月13日に行われました。受賞作品は、下記日程・場所で展示されます。ぜひお越しください。 日 10月15日(月)～19日(金)午前8時30分～午後5時 場 市役所本庁舎1階ロビー 産業振興課産業振興係 ☎042・497・2052

